

# 教員採用選考における論文筆記についての指導

三 浦 薫\*

キーワード：論文を評価する力量、論文の型

## 1 はじめに

### (1) 教員採用選考における論文

公立学校の教員採用選考においては、論文を課す教育委員会が多い\*。

論文には受験者の資質や能力が表現され、その人となりをも多面的に捉えることが可能と判断していると想像する。各教育委員会が公表している評価の観点を概観しても、教師としてふさわしい「総合的な人間力の把握」とする表現が多い。

例えば、神奈川県教育委員会は平成 25 年度採用選考における評価の観点として、『表現』について「文章の構成」「分かりやすさ」「表記の正確さ（誤字、脱字）」をあげ、『内容』について「着想」「論旨」「結論（明確さ、説得力）」「自分の考え」をあげている。これらは、教師となるべき人間が備えておかねばならない力量と言える。

実施には様々な難しさが伴うが、問題の出題方法を様々に工夫する教育委員会や、採点について厳格な基準を設けて公表する教育委員会があるなど、論文選考は継続されて来ている。

\* 48 県市（文部科学省 平成 24 年度調査）

### (2) 論文学習の実態

選考を受ける学生にとって、論文についてまとめて勉強する機会は、それほど多くない。それでも、論文の書き方を学ぶために時間や受講料をやりくりして予備校に通う者が多いと聞く。専門の講師に種々の指導を受けているのではあろうが、その負担は大きいものと想像される。

また、教育実習やボランティア先の学校の管理職から指導して貰える学生も多いようだ。しかし、その実態は、課題を示されて試しに書き、添削されたものが返却されてくるというのがほとんどである。返却された論文には様々なコメントが付されているようであるが、論文をどう書いていけばよいのかの、確かな指導が提供されているとは言えないというのが実態であろう。しかも、実際の選考の場で生きるはずもない一字一句に拘った添削や、感想をとりまぜた指導が為されている例を見ることが多い。

### (3) 私の主張

論文は、自分の力でその良し悪しが判断できなくてはならない。これが、私の第一の主張である。論文の目的が筆者の思いや主張を伝えようとするものである以上、それが実現しているか否かを判断する力量の無い者が、選考担当者に分かって貰える論文が書けるとは思えない。一般に言うところのいわゆる「添削」に頼るだけの学びでは、期待する成果を得ることはできないと考えるべきである。

第二の主張は、論文の構造を理解して「型」を用いて書くことができるようにしなくてはならない、ということ

---

\* 教育学部 特任准教授

ある。論文は、限られた時間内に、限られた紙幅の中で自分の思いや主張を述べる事が求められる。冗舌にならず、しかも筆者の人となりや意欲まで書き込もうとするのであれば、「型」を用いて構造的に書くことが最も効率的な方法ではないだろうか。自分が身につけた「型」に従って書くことで、どのような問題が出されても、一定して分かりやすくレベルの高い論文が書けるものと考えてみる。

## 2 指導の内容

### (1) 論文の型を教える。

#### ① 「正・反・合」という用語を用いること

「正・反・合」については、弁証法を表現したもので「対話法」の視点に立って「意見」「考え」を述べる方法として有効な「型」である、と理解している。

この用語で、「正・反・合」という論文の構造を理解して欲しいと願い、論文に取り組む学生自身が納得できて、出題者に分かりやすく読んで貰える論文が書けることを会得して欲しいと願って、用いるのである。

#### ② 用語「正・反・合」の意味づけと使い方

##### i) 正 : 課題の提示

○ 問題文の内容を「是」として、そこからの自分の受け止めに基にして、「教師としての」課題を設定させる。

##### ii) 反 : 課題に反する実例等

○ 課題設定の根拠となる実例を示させるという意味で、「否」(反)となる実例等で課題の意味・価値を補強させる。

##### iii) 合 : 課題解決の方策

○ 設定した課題を次のように解決していくという、統合・止揚する「合」の内容を、その方針と共に示させる。

○ 以上の「正・反・合」の視点に立ち、課題解決の方策を、「論」「例」「策」の3段階でまとめさせる。

・ 論 : 方策の中心となる考え方である。「あるべき姿」(価値や意味)、方針等についての論を書く。

・ 例 : 「論」に適合する効果的な(もしくは、反する)実践例を書く。

・ 策 : その上に立って自分が「教師として」どのように実践しようとするか、具体的な策を書く。

#### ③ 構成票と、それを用いることの意味

・ 「正・反・合」と、「合」の中の「論・例・策」の概要を書く票(用紙)の作成。

・ 問題文を分析し、論文の「型」にそった構想を確立するために用いることを理解させる。これによって、どのような問題が出されても容易に対応できるようになることを、実感させる。

### (2) 過去に出題された問題について、型に合わせて練習させる。

① 意味 実際の問題を用いて練習させることで、解答に必要な能力について理解させると共に、自らの力量を判断させることができる。この後に設定した「論文の分析」「問題の分析」に向けての構えを学ばせる意味も含めている。

#### ② 内容

・ 正 : i) 課題を設定させる ii) 設定理由を書かせる iii) 「あるべき姿」(理想)を文章にさせる

・ 反 : i) 事例をあげさせる ii) 理想に反する現実を文章にさせる

- ・ 合 ① i) 方策の例をあげさせる ii) 「自分ならこうする」という文章にさせる

③ 実践 2 縣市（神奈川県・相模原市、岐阜県）の問題について取り組ませた。

④ 結果 一部の学生を除いて、文章にするまでは到達できなかった。書けた者の中から全員での検討に提供されたものを共に添削し、論文筆記の練習をおこなった。

(3) 既存の論文を、型に合わせて分析させる。

① 意味 解答例として作成した論文を分析させることで、型を用いて書くことの良さを実感させると共に、構造を読みとる練習を積ませて力量を高める。

② 実践 平成 23 年度までと、平成 24 年度採用選考の解答例の計 4 種（全て、東京都）について分析させた。初めは個人で作業し考察させ、その後で全体で結果を話し合わせた。

③ 結果 いずれの解答例についても、分析の詳細が一致するまではいかなかった。全く分析できない学生もいたが、話し合いの過程で、次第に型に合わせて書かれた論文の構造が理解できていった。

(4) 過去に出題された問題について、型に従って整理させる。

① 意味 問題文を分析させて、論文についての自らの課題を設定させる。その上で、「論文構成票」を完成できるようにさせる。練習を積ませる。

② 実践 平成 24 年度採用選考の問題から 5 縣市（秋田、埼玉、石川、香川、神戸）を選び、問題の分析をさせると共に、設定した課題や論文の構想について意見を交わさせた。

③ 結果 問題から「どのような課題が設定できるのか」の読み取りが一致する学生が増えてきた。学生同士の意見の交流が活発になり、予定した時間を越えて継続したいとの要望も出されるほどであった。

(5) 論文を書く際に留意しなければならないこと等を学ばせる。

① 留意事項 文体、教育用語の使用、表現、用紙の用い方

② 学習計画 採用選考までの 2 ヶ月ほどの日々で、どのように練習したらよいか。

### 3 実践

(1) 「論文練習講座」として、次のように開設して実施した。

- ・ 日程 平成 24 年 4 月 7 日（土）・14 日（土）・21 日（土）・28 日（土）
- ・ 時間 午前 9 時 30 分～15 時 30 分（昼食休憩 1 時間）
- ・ 場所 明星大学（日野） 28 号館 114 教室
- ・ 参加 通信教育部に籍を置く学生 80 名（希望者 200 名から抽選）

(2) 資料として次のものを作成して、用いた。

- ・ レジュメ（4 回分）
- ・ 論文テストの状況（平成 24 年度選考とそれ以前の 2 種）
- ・ 論文テストの問題と解答例（東京都の過去の問題と解答例 3 種）
- ・ 論文構成票（用紙）
- ・ 練習「論文構成票を作ってみよう」

- ・ 参考『「分かる授業」とは「文を短く」』
- ・ 論文練習用紙

#### 4 結果・まとめ

##### (1) 学生の感想から

- ・ 昨年度、東京都を受験しましたが、不合格の結果に少し納得できない部分がありました。しかし、今回の講義を受けて、自分の論文がはちゃめちゃであることに気付くことができました。
- ・ 東京都の「1500字」はすごく高い壁のように感じていましたが、型にはめていくことで書き易くなりました。
- ・ 私自身がまだまだ問題を読み取れていないということが分かりました。そのために課題設定で頭を抱えてしまい、とても硬い表現になったり、そこから展開していけない自分があることに気づきました。しっかりと練習して、試験に備えます。
- ・ 今回の講座では、論文の基礎から考え方など、様々なことを学びました。これでやっと、戦えるものを手に入れたので、あと2ヶ月で自分のものになるよう勉強して、合格します。
- ・ 論文の書き方だけでなく、教師としての自分を想像させてくれる内容でした。どんどん文章が書ける自分に気づいたときは、論文って楽しいと思えました。
- ・ 先生や同志達から鮮度の高い、リアルな教育現場の状況を見聞きすることができ、自分だったらこんなことができるな、自分だったらこんなことがしたいなと、具体的にイメージすることができました。

##### (2) 学生の復元論文の例（問題は、5 (2) に）

（学生：平成11年度入学 正科生3年次編入学 男性 20代）

- 1 この事例において、B教諭は、以下のような生活指導に取り組んでいく必要があると私は考える。  
まず、時間が守れてない事実、放置したボールを高学年が片づけた事実気づかせることが必要である。そして、時間が守れないと、守れている子にどのような迷惑がかかるか、片づけなかったボールは誰かが片づけていることを考えさせることが必要である。せっかく時間通りに授業の準備をして席についている子にとっては、大切な授業の時間が減ってしまうことなどを改めて考えさせる必要がある。  
次に、どうしたら遅刻をしないかを具体的に考えさせる。校庭から教室は何分かかるのか、遊び道具を片すにはどのくらいかかるのか、それを一緒に考え、チャイムが鳴るどのくらい前に、どういう行動をしなければならぬかを一緒に考える必要があると私は考える。上記二つと平行して、中学年として、高学年を見本にししながら、低学年の見本になることも必要であると伝えていかなければならないと、私は考える。
- 2 私は中学年の担任として、「児童の自発性や自主性を育む教育活動の充実」を実現するために、以下の二つの取り組みをもって学級経営を行う。  
まず一つ目は、毎日の帰りの会で、その日に他のクラスの人や学校のために何か良いことをやった子どもを褒める取り組みである。褒めた際には黒板に一つ花丸をつけ、それが10個たまったら、花丸パーティという名で学活の時間を使って全員で遊ぶことにする。毎日の終わりを節目として、他人のため、クラスのために何かをやったことをみんなの前で褒めることで、良いことをした子どもは、みんなの前で褒められることで自尊心が育っていく。また、それを聞いている子どもも、自分もみんなの前で褒められたいと思うきっかけにもなるし、具体的に何が他人のためになることなのかを知ることもできる。また、毎日何かを褒めるためには、私



自身もクラスの子どもたちの一日の生活を、褒めるところはないかという観点で注意深く見るが必要になるので、良い循環を生むことができると考える。

次に、花丸が10個たまった際の花丸パーティにおいて、何をどのように行うかを子どもたちに決めさせ、実行させることを通して、自発性、自主性を育みたい。花丸パーティのルールは一つである。クラス全員が楽しめることをする、ということである。そのルールに従ってゲームを進めるためには、誰が何を好きか、みんなが楽しむためにはお互いを思いやるが必要になることなどが分かる。また、実際にゲームを行うと、その準備や片付けも自分たちで役割を決めて行う必要があることも分かるだろう。さらに、楽しくゲームをするためには、ルールをみんなで守る必要があること、例えば間違った判断でも審判の判定には従う必要があることも分かるだろう。花丸パーティを1年間に数回行うことで、初めはうまくいかなくとも、徐々に互いを思いやる必要性、集団で何かを行う楽しさやその方法を見に付けていくことになると思う。

以上の実践に全力で取り組み、子どもたちの自尊心と社会規範を育て、自発性、自主性をもつ子どもたちを育成できるよう、日々、研究と修養に励む所存である。

### (3) まとめ

- 受講した学生は、東京都を中心に関東各県からの学生であった。大阪府からの学生も一名いたが、東京都での採用を希望してのことであった。
- 全ての終了後に感想を書かせた。内容の一部は前掲の通りであるが、その他も、概ね講座の目的を達成できたと評価できるものであったと考える。ただ、日程や開催時期、受講人数について配慮を求める声があった。
- 選考後に復元論文を送ってきた学生は、4名に止まった。その1編が前掲のもので、東京都採用選考の合格者である。
- 講座の準備や実施に多大な時間を要したが、明星大学通信教育部が目指す大きな目標の達成のために必要と考え、実施してきた。今後も継続する予定であるが、年間に2回実施していきたい。

## 5 資料

(1) 指導に用いた資料（巻末に一括して綴じ込み。但し、用紙は除く）

(2) 参考

- ① 平成25年度採用選考の東京都の問題（巻末に綴じ込み）
- ② 平成26年度採用選考に向けた「論文練習講座」の実施計画
  - ◇ 平成25年3月16日（土）・17日（日）・20日（水）・23日（土）
  - ◇ 平成25年4月6日（土）・13日（土）・20日（土）・27日（土）

## 指導に用いた資料

### 平成24年度 論文練習講座 実施計画

回	1 (4/7)	2 (4/14)	3 (4/21)	4 (4/28)
午前	1. 論文テストの状況 ・ 採用選考の課題 (別紙)	1. 「正」の構成 ● 意味と役割  ● 構成練習	1. 「合」の確認と、 「論・例・策」の 構成  ● 意味と役割  ● 構成練習	1. 解答例に学ぶ (別紙)
	2. 採用側が求める 論文			2. 出題形式に 合わせたまとめ方
午前	3. 論文とは ・ 課す意味から ・ 書く内容から			3. 論文構成票
	4. 論文の構成 ● 正・反・合 → 論・例・策	2. 「反」の構成 ● 意味と役割  ● 構成練習		4. 論文記述の前に
午後	● 構成例		2. 模範解答に学ぶ	5. 試験日までの 学習計画
				※ 添削指導に ついて
宿題	☆ 指定した選考問題について、出題の意図をまとめる。 ※ 「構成票」とは別	☆ 指定した選考問題について、「正」の課題設定を行う。	☆ 模範解答を、自分なりに書き直してみる。(構成も変えるなら、それも可)	◎ 質疑応答  ◆ 受験後の復元と送付について
準備	○ テキスト〔1〕 ○ 論文テストの状況 ・ 24年度 ・ 過去 ○ 宿題解答用紙	○ テキスト〔2〕 ○ 宿題解答用紙	○ テキスト〔3〕 ○ 宿題解答用紙	○ テキスト〔4〕 ○ 論文テストの問題と解答例 ○ <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">参考</span> ○ 論文構成票 ○ 論文用紙

\* 午前 9:30~12:00 午後 1:00~3:30 (途中の休憩は無し)

## 論文練習講座 第1回

4月7日

### 1. 論文テストの状況

- (1) 平成24年度採用選考での課題
- (2) 平成23年度以前の採用選考での課題

### 2. 採用側が求める論文

#### (1) 「求める教師像」に描かれる

- 札幌市
  - ・ 教育者としての強い使命感と子どもたちへの限りない愛情にあふれた教師
  - ・ 豊かな教養、人間性、社会性を兼ね備えた熱意ある教師
  - ・ 子ども理解に優れ、教育の専門家として確かな力量がある教師
- 宮城県
  - ・ 学校の教育力を構成する実践力  
授業力、子ども理解、生徒指導力、学校を支える力
  - ・ 実践力の基盤となる意欲・人間性など  
自己研鑽力、教育への情熱、たくましく豊かな人間性
- 岐阜県
  - ・ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師
  - ・ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師
  - ・ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師
- 宮崎県
  - ・ 子どもに対する愛情と教育に対する情熱を持ち、子どもとの信頼関係を築くことができること（愛情と情熱）
  - ・ 分かりやすい授業を行い、子どもに確かな学力を育成するなど高い専門性を身に付けていること（高い専門性）
  - ・ 社会人としての幅広い教養と、良識を身に付けていること（幅広い社会性）
  - ・ 学校組織を運営する高いマネジメント力を発揮できること（マネジメント力）

#### (2) 「評価の観点」から掘む

- 東京都 : 課題把握、教師としての実践的指導力、論理的表現力
- 千葉県
  - ・ 内容 : 誠実さ、向上心、創造性、洞察力、社会への適応性
  - ・ 構成力 : 課題の意図の把握、題意に即した分析、論理的な主張
  - ・ 表現力 : 具体的なわかりやすい内容、語句の使い方・表現、誤字
- 長野県 : 題意把握、文章構成の工夫、論理的思考力、誤字・脱字

### 3. 論文とは

※ 辞典では、「ある問題について、意見・学説を述べる文章」と表している。

私は、「教育課題についての意見表明を通して、自己を表現すること」がふさわしい説明だと考えている。

(1) 課す意味（書かせる意図）…… 求める教師像に関わる力量の確認

- 教職に就くことへの意欲
- 教育課題の理解
- 論理性
- 文章構成力
- 課題克服への準備
- プレゼンテーション能力
- 協調して課題克服に取り組む能力

(2) 書く内容 …… 教師としての学びの確認

- 教育に関わること
  - ・ 基本的な内容の理解ができている
  - ・ 発展的な応用力・思考力がある
- 学校に関わること
  - ・ 現状について理解している
  - ・ 経験の有無・程度
  - ・ 改善案をもっている
- 論じてはいけないこと …… 国家や社会、政治、教育や社会制度の在り方。  
歴史（教育史）。  
私人としての経験。

(3) 構成の基本

- ① 示された課題（問題）への「解釈」  
課す側は、教育課題についてどのように勉強し、どのような考えをもっているのかを確認したい。
- ② 解決のための具体的な「方策」  
実際に考えた、経験した、見た方策があるか？ 子どもの姿をイメージできてるか？

## 4. 論文の構成

### (1) 「型」にはめて構成・記述することの良さ

論文には、読み手がある。読んで貰わなければ、点数も付かない。書き手としての思いはともあれ、読み手に受け入れられる書き方（論の展開の仕方）が必要である。

- ① 確立している「型」に従う …… 書き手も読み手もスムーズに進められ、齟齬がない。
- ② 構成全体の型 …… 一般の論文では、「起・承・転・結」を、教育論文では「正・反・合」を用いることが多い。
- ③ 論文の内容についての型 …… 「論・例・策」をとることが多い。

### (2) 構成例

構成	型	種 別	内 容	行数	
① 解釈	正	課題の提示	問題文から、教師としての自分の課題を設定する。 課題の必要性を、直截な表現で提示する。	3	
	反	課題に反する 実例等	課題となる理由を、具体例を挙げて説明する。その背景なども含めて述べられれば、更に良い。 但し、実例は、反するものだけとは限らない。	4	
	合	解釈 方策への 橋渡し	課題として提示したことが、子どもたちの成長や学校教育に如何に重要であるかを述べる。 「だからこそ、自分は、次に掲げる方策で取り組む」と、高らかに宣言する。 余裕があれば、全体を概観する。	6	
② 方策	方	論	方策の中心になる考え方（価値や意味）・自分の方針を、明確に述べる。 方策を2つ以上にしてタイトルをつける場合は、それで内容を説明できるようなものにするに工夫を。 ex) いじめを根絶する学級経営の推進	指定字数が多い論文は、この方策を繰り返す	4
		例	自分の実践したことや、指導の様子を身近に見た良い実践例を書く。 但し、特異な例（その学校だけ、その個人だけの例）は不可。		3
		策	教師になった時に実践することを丁寧に述べる。誰もがやりそうな方策が良い。実現困難と思われる方策は、流れがきちんとできていることが重要。 教育実習やボランティア等での自分の実践を延長しての方策も有り得る。		4
	まとめ	教職への決意、問題解決への努力などを述べる。最初の課題に戻ることも視野に入れておく。	3		

※ 割り振り（行数） …… 全体を800字、30字×27行とした場合の例。



## 論文練習講座 第2回

4月14日

### 1. 「正」の構成

#### (1) 意味と役割

##### ① 問題を正しく受け止めたことを示す。

まず、問題に示された内容を確認し、それが「教師としての自分が解決すべき大きな課題となるはずだ」との姿勢を示す。

使える文字数が少ないときは、次の②と合わせて表現してよい。

##### ② 問題から教育課題を掲げ、設定することを示す。

問題を基として、教師としての自分が解決すべき課題として、掲げる。

さらに、なぜ主たる課題として設定したかの理由（反例ではない）を、丁寧に述べる。

そして、課題の解決が子どもたちの成長に重要な働き、役割を果たすことをまとめる。

「その解決が無くして教育は成り立たない」とのニュアンスで述べたい。

論文前半のポイントとなる部分。丁寧に構築する。

#### (2) 構成練習

##### ① 問題文を読み、重要部分に下線を付す。そして、リード文・課題として掲げられていることについて、簡単な文か小見出しにまとめる。

##### ② まず、課題を設定する。

次に、設定の理由をまとめる。

そして、文章化する。

##### ③ その1 神奈川県・相模原市（24年度）

「生きる力」の育成をめざした新学習指導要領が全面実施になりました。そのような中、神奈川県では、学力向上と、いじめ・不登校等児童指導の課題への対応を進めています。これらのことから、各学校においては、魅力ある学級づくりが大切になっています。以上のことを踏まえ、学級担任としての具体的な取組について、あなたの考えを述べなさい。

課題設定

設定理由

「正」の文章

④ その2 岐阜県（24年度）

学級の中に、友だちになじめず、ひとりぼっちでいるAさんがいます。あなたはいつもAさんに寄り添い、学習や活動の場面で励まし、支えてきました。ある日、そんなあなたの姿を見て、Bさんが次のように言いました。「先生は、いつもAさんのことばかりひいきしている。みんな大切だと言っているのに、Aさんばかり手伝ったりしてひいきをしている。」周りにいた子たちも、「先生は、Aさんをひいきしている。」と言い出しました。あなたは、こうした子どもたちの問いかけに対して、どのように説明・対応しますか？

課題設定

設定理由

「正」の文章

## 2. 「反」の構成

### (1) 意味と役割

- ① 課題にせざるを得ない理由を、実例で示す。

課題として設定したのは問題があるからで、その問題点を明らかにするとの観点で述べる。即ち、これまでに経験してきたことや見聞きしてきたこと、伝え聞いたことなどを課題に関わる実例として挙げることによって、課題として設定したことの意味を強調する。

- ② 実例を挙げることで、経験や関心の度合い、学びの深さを知って貰う。

### (2) 構成練習

- ① 適切な「反」の事例を、これまでの経験の中から探し出す。

- ② 注意すること

- ・ 具体的な事例を選び出すこと。観念的だと説得力がない。
- ・ 事実を脚色するのは構わない。適切に、筋が通るように修飾する。
- ・ 取材先の校種は問わない。学校だけでなく、幼稚園や学童保育クラブなども可能。

※ これまでに子どもたちと関わった中で得てきた経験は、重要である。面接の準備のためにも、全てを洗い出しておきたい。

※ 児童と関わった経験が全く無い場合は、本や雑誌（教育関係）で読んだ事例にする。テレビは極端に抽象化したり脚色したりしているので、ふさわしくない。

- ③ まず、事例を3点、挙げる。

そして、1もしくは2点の実例を用いて文章化する。

- ④ その1 神奈川県・相模原市（24年度）

理由として説明に使える事例

1.
2.
3.

「反」の文章

--

⑤ その2 岐阜県（24年度）

理由として説明に使える事例

1.  2.  3.
------------------------

「反」の文章

--

## 論文練習講座 第3回

4月21日

### 1. 「合」の確認と「論・例・策」の構成

#### (1) 意味と役割

##### ① 論文を左右する「問題の『解釈』」

「問題の解釈」と「論例策の概観」が書かれるので、この後を読まなくても、筆者の考えが分かり、合否判定さえ出せる部分。

また、方策の内容は、論述者の自己表現である。予めの準備が、できを左右する。

##### ② 「合」を構成する「論・例・策」

主たる課題にもふれて、「その解決のために次を实践する」（方策の意義）というニュアンスでまとめることになる。即ち、「論・例・策」を概観する役割がある。

#### (2) 論・例・策（方策）

##### ① 論

・ 「策」の根拠となり、論述者の考え方（信念）までも読み取れる部分である。教育課題と絡めて、自分の考えをまとめておく。自分の主張をいちばん出したいところである。

・ タイトルを掲げる場合、方策の全体像を説明する表現で。（指定字数が多い場合）

例）1. 分かる喜びを味わえる授業づくり

2. けじめをつけて集中する態度を育てる学級経営

##### ② 例

・ 「論」として説明したことに反する（場合によっては、当てはまる）事例を挙げて、「こういう実態があるから、この論が意味をもつ」というスタンスで述べる。

・ 事例は、自分が経験したことを中心にまとめる。見たり読んだりしただけの事例は、迫力に欠け、読み手に伝わらない。今からでも学校に関わり、具体的に論述できるような事例を見つけたい。

##### ③ 策

・ これまでに見聞きしてきた方策からふさわしいものを挙げ、最後に「以上のように指導し、論に掲げたタイトルの内容の実現を図る」というスタンスでまとめる。

・ 目新しい、独創的な策にする必要は、全くない。現場の先生方の実践に学び、自分のものにできることが「策」になる。

※ 方策が、領域を分けて5つ以上、用意できれば、殆どの問題に対応できる。

※ 教育実習がまだ済んでないなど、児童と関わった経験が無い場合は、あらゆる手段を講じて「例」や「策」に使える事例を集めたい。

その一つとして、部報「めいせい」の「教育実習を終えて」は有効である。自分ならどうするかを考えながら読み、自分のものとして確立させたい。







## 2. 模範解答に学ぶ

(1) 東京都の問題（平成24年度採用選考）

(2) 模範解答例

※ 一般選考を想定して作成したものです。

※ 補助教員等経験者は教員経験から得た成果や課題を踏まえること、社会人経験者その経験を踏まえて論述することが、指示されています。

1

A小学校の指導の重点を受けた学級目標「すすんで学ぶ学級、みんなで学ぶ学級」は、適切であったと考える。しかし、保護者会で指摘されたように、児童の実態は目標からかけ離れたものであり、B教諭がその実態を把握して来なかったことが分かる。そこで、私がB教諭であったら、次のような観点で自らの指導を見直し、今後の実践につなげて行きたい。

まず、教師からの一方的な指導になっていなかったか、の観点である。この指導の行き着く先が「指示待ち人間」を育てることになるのは言い古されてきたことである。

次に、子ども任せにして来なかったか、の観点である。全てを自由にすることは無く、啐啄同時の心構えでの指導こそが確かな成長に繋がると信じる。

最後に、保護者との連携を軽んじてなかったか、の観点である。子どもを間に車の両輪のような関係が築けなければ、現代における学校の存在意義が問われることになると思う。

以上の観点で指導を見直し、改善に尽力する所存である。

(35字×14行)

## 2

学級目標「すすんで学ぶ学級、みんなで学ぶ学級」は、児童の学びの姿勢としての「自主性」と、学級の学ぶ態勢としての「集団での学び合い」を大切にしようとするものと考え。いずれも5年生の学びについての重要な方向性をもっており、何を置いても達成に努力すべき目標である。

ところで、ある算数の学習で、四角形の等積変形を自力解決や学級全員での練り上げをさせず、教え込むだけの指導を見たことがある。児童の達成感はずかかなもので、児童に学びの実感も意欲ももたせられないと思った。

一方、国語の学習で古典の音読に家庭の協力を得た上で、学級の音読発表会に保護者や地域の方々を招待する先生の姿を見ることができた。家庭の教育力を活用すると共に、学びの状況を理解して貫うこともできるすばらしいご指導だと思った。

これらの実態に触れて、授業力向上の重要性と、それを支える学級経営力の大切さを実感した。そこで私は、それらの力量の向上を努力の柱とし、前項で挙げた改善の観点をその支えとして、目標の達成に尽力したいと考える。

授業力の向上は、教材研究の深化、指導（学習）過程の学び直し、指導技術力の向上が不可欠である。そしてそれは、たくさんの授業研究を行うによって可能になると考える。丁寧に教材研究し、準備した授業を先生方に見ていただき、ご指導いただく。また、多くの先生方の授業を、発問の在り方や発言の採り上げ方等の学ぶ観点をもって見せていただき、授業後にご指導いただく。校内研究にも積極的に取り組み、自らの授業力向上に努める。

学級経営力の向上は、児童理解の深化から始め、学級での学び方や生活の仕方を児童と共に構築することに取り組む。具体的には、皆で学び合うことを大事にする姿勢や、挨拶を大事にする姿勢を育てて行きたい。ただ、その根底には、教師と児童、児童同士の信頼関係を作り上げる指導が不可欠で、全力で取り組まねばならない。それができてこそ、家庭の信頼も得られるはずである。また、その基盤として自らの人間性を磨くことにも、日々精進する。

以上の実践に全力で取り組み、真に学ぶ児童を育て、真に学ぶ学級をつくり上げる所存である。

(35字×28行)

## 論文練習講座 第4回

4月28日

### 1. 解答例に学ぶ

### 2. 出題形式に合わせたまとめ方

#### (1) 平成24年度採用選考問題について

- ① 目指す教師像 (札幌市、仙台市)
- ② 教育課題 (栃木県、さいたま市、千葉市、神奈川県・相模原市\*、川崎市\*、新潟市\*、愛媛県、福岡県、大分県、沖縄県)
- ③ 社会の事例 (青森県、名古屋市)
- ④ 事例の解釈と対策 (東京都\*、横浜市\*)

《\*印：学級経営を重視しているもの》

#### (2) 留意すること

- 基本の構成は「正・反・合」、方策は「論・例・策」
- 問題のポイントを外さない主張を。
- 自分の言葉で。

### 3. 論文構成票

#### (1) 課題分析

- ① リード文
  - ・ キーワードと思える言葉に下線を引き、それぞれの関係を確認する。
  - ・ 中心となる主張を最上位として、階層を描く。 (→ 下位を捨てる)
- ② 課題分析①
  - ・ 答えねばならないことは何か、いくつあるのか、その順序はどうあるべきかを書く。
  - ・ 「是」と認めて主張すべきことは何かをマークする。
- ③ 課題分析②
  - ・ (課題が2つある場合に同上) 但し、答えるべきことに、さらに要注意を。

#### (2) 解釈と方策、まとめ

- 第1回の「4. 論文の構成」を参考に書き込む。
- 各項目に書く内容を、短い文で表現する。できれば、言葉を列挙して記述する。
- 指定文字数によって、方策は1～3つを選択する。
- まとめ
  - ・ 教職に就く決意や課題解決への意欲を示したい。主たる課題に戻って、解決への決意を示すことが効果的なことを覚えておく。
  - ・ 一般的な文言を排除し、自分の言葉で書くことを大事にする。

#### (3) 予定の行数を書く。



## 4. 論文記述の前に

### (1) 文体

- ① 基本的に、常体で。まとめの文も同様。  
事例として挙げることに、敬体の文が挿入されることが有り得る。
- ② 教師に採用され、来年度から教壇に立つつもりで書くこと。「先生になれたら…」のような表現は絶対に不可。遠慮はいらぬし、余りに控えめだと意欲を疑われる。
- ③ 読んで貰う相手を想定する  
予め決めておき、その人に向けて述べていく。  
例) 私は～と考える。(そのように全力を尽くせば、よい指導ができるはず。どうか?)

### (2) 教育用語

- ① できるだけ使わないことを原則とする。  
多用は、何の効果も得られない。却って、論点が定まらず皮相的な論文になることが多い。  
教育用語の多用で説明できた気になってしまうことが、いちばん怖い。  
法令などの名称も同様に考える。  
例) アカウンタビリティ、学校選択制、子ども安心プロジェクト、児童中心主義  
キャリア教育、PISA 型読解力、食育基本法・学校給食法、
- ② 使う時は、定義を確認して、間違いない使い方を。その自信が無い時は、本文の中で定義してしまう。  
ただ、その当否が問題になることがあるので、予めの勉強が大事である。  
例) 「学力」を、私は「知識・技能に、自ら学ぶ力を含めたもの」と考える。

### (3) 表現

- ① 「知っていることを全て書かないと不安」症候群  
問われていることは、あなたの考え。未消化な知識の披瀝は、実力のなさを宣伝しているようなもの。
- ② 漢語と和語  
誰もが理解できるふだんの言葉で、分かり易い表現で書いた時に、よく理解して貰える。  
例) 「育成する」と「育てる」と「育む」
- ③ 誤字・脱字、送り仮名の誤り、熟語の誤用等は、大きなマイナス評価を受ける。  
例) 完璧 教育過程 教論 担人 言葉使い 児童感 支る 培かう  
はかる(図、計、測、量) 児童→生徒 黒板に板書 朝の朝会

### (4) 用紙の使い方・書き方

- ① 段落で構成する。(小見出しをつけられるような、ひとまとまりの内容とする)  
段落をかえる時は、改行(一字右寄せ)をして、明確に示す。
- ② マス目を全て埋めなければならないと考える必要はない。余白が多い方が段落がはっきりして読み易い。

- ③ 文の長さに注意する。できるだけ短くしたい。3行にも渡るような文は、文の構成がしっかりしていても読みにくい。
- ④ 文の捻れに注意する。文の初めと終わりで齟齬を来している例を見ることが多い。声に出して読んでみると分かり易いので、確認を怠らない。  
例) 私が考える方策は、～～である。 (× 私が考える方策は、～～を方策としたい。)
- ⑤ 接続詞を的確に用いる。論述者の思考の流れ(論文の構造)を示すことになるので、理解して貰い易い。  
まず、次に、また、さらに、さて、しかし、ところで、しかしながら、…
- ⑥ 字は楷書が基本である。きちんと読んで貰えるように練習して欲しい。  
崩し書きは、絶対に不可。
- ⑦ 「まとめ」は、1マス目に「◎」などのしるしを。本文は3マス目から。
- ⑧ 句読点を、適切かつ明確に打つ。句点をピリオドに代えるのは適切ではない。  
例) 学級経営の要点は児童との信頼関係の構築と授業力の獲得に他ならないと考える。
- ⑨ かぎ括弧や丸括弧には1マス使い、終わりの括弧には句点を省くことが多い。
- ⑩ 数字は、1字～2字は1マス、3～4字は2マスに書く。
- ⑪ 鉛筆(シャープペンシル)の硬さはBが適当と思う。2B以上は汚れ易いし、HB以下は硬くて消しにくい。消しゴムはプラスチック消しゴムが使い易い。

## 5. 試験日までの学習計画

### (1) 何で、書くか

- ① まず、パソコンで。
  - ・ 利点 … 修正が容易。たくさん問題に取り組める。
  - ・ 欠点 … 本番での時間が読めない。漢字を覚えない。眼の疲労。
- ② 一ヶ月前からは、鉛筆(シャープペンシル)で。
  - ・ 書き馴れることが重要。  
(筆記具にペンやボールペンを指定する教育委員会はないと思うが…)

### (2) 手書きでの練習

- ① それまでにパソコンで書いた文章を読んで、暗記する。
- ② (ある程度の自信がもてたら)問題文を読むだけにして他は何も見ないで、最後まで全文を書いてみる。
- ③ 読み直してから、もう一度、トライする。  
おそらく不十分だろうが、書き直しは2回までに。

これを繰り返していくと、パソコンで一字一句に拘って作文しても、試験当日には生かせないということが分かるはず。同じ問題が出るはずもないので、手書きの練習をしながら大きく捉える力をつけて欲しい。

(3) 方策を、いくつもったら良いか

- ① 5つ
- ② 最低限、「策」を5つ

(4) 他の学習との関係

- ① 常に平行して
  - ・ 学びが相互に関連する良さがある。
- ② 直前の練習
  - ・ 暗記科目への比重を減らし、論文に集中する。
  - ・ 指示された時間より10分早く終わられるように。

(5) 添削指導

- ・ この講座では、対応できない。
- ・ 身近な人を探して、頼み込む。(但し、力量の無い人もいる。よく考えて学習を進める)

## 6. 論文に表現される人間性

- (1) 素直さ
- (2) ねばり強さ
- (3) 賢さ
- (4) 愛と情熱

### ◎ 質疑応答

#### ◆ 依頼

- 後輩のために、受験後の復元論文を送って下さい。
- 試験の結果を連絡して下さい。

(教育学部 教育学科 三浦)

【別紙】

## 論文テストの状況 (平成24年度採用選考問題)

採用選考の傾向を見るために、全国の教育委員会が出題した問題の一部を載せました。

教育委員会によっては、論文テストを実施しなかったり、一部の選考枠に限って実施したりしています。受験する教育委員会の選考要項をよく確認して準備して下さい。

- 北海道 札幌市（2次試験）（社会人特別選考）

あなたは、社会人として培った経験や専門性を生かし、どのような教師になりたいか、具体的に述べなさい。（800字以内・60分）
- 青森県（2次試験）

今年は東日本大震災が起きました。被災地での礼儀のよさを海外メディアは称賛しています。このことを受け、あなたの考えを書き、それをどのように生かしていきたいかを述べなさい。（601～800字以内・50分）
- 宮城県 仙台市（教職教養の代わりに小論文を選択した者）

「学び続ける力」を子どもたちに身に付けさせるために、あなたは教師としてどのように取り組めますか。これまでの経験もふまえて述べなさい。（800字以内・60分）
- 栃木県（2次試験）

自尊感情とは、「自分を価値ある存在として尊重する感情」のことである。学校教育全般において、児童生徒一人一人の自尊感情を高めるための具体的な取組について、その必要性も踏まえ、あなたの考えを書きなさい。（600～1000字以内・50分）
- 埼玉県 さいたま市（1次試験）（臨任教員勤務実績特別選考（小/中）・社会人特別選考）

いじめや不登校などの生徒指導上の課題を解決するためには、児童生徒同士や児童生徒をとりまく人々との豊かな人間関係を醸成することが重要であると指摘されています。あなたは、このことをどのようにとらえていますか。また、このような豊かな人間関係を醸成するためにどのように取り組んでいきますか。これまでの学校での勤務（民間企業等での）経験を踏まえて、具体的に述べなさい。（1200字以内・80分）
- 千葉県 千葉市  
学校保健安全法第29条には、児童生徒の心のケアに関する規定が盛り込まれています。また、文部科学省は、「子どもの心のケアのために？ 災害や事件・事故発生時を中心にー」（平成22年7月）で、心のケアの進め方を提示しています。このような中、災害や事件・事故発生時において学校で行う子どもの心のケアの必要性とその進め方について、また、あなたはどのように取り組もうと考えているか書きなさい。（800字以内・40分）

○ 東京都

次の事例を読み、下の問題について論述しなさい。

【事例】 A小学校では、児童の学習意欲の向上を今年度の指導の重点としている。4月から第5学年の担任になったB教諭は、「すすんで学ぶ学級、みんなで学ぶ学級」を学級目標とし、全力で学習指導や生活指導に当たっている。5月の連休明けに行った授業参観後の保護者会では、前年に比べ授業中の発言が少なくなったことや、勉強が面白くないと言って家庭学習をおざなりにする児童がいることなど、児童の学校や家庭での学習に取り組む姿勢が話題になった。B教諭は、保護者の発言を聞きながら、改めて自らの指導を見直し、指導の改善・充実を図る必要があると考えた。

1. あなたがこの事例のB教諭であったら、どのような観点から自らの指導を見直すか述べなさい。
2. あなたは、「すすんで学ぶ学級、みんなで学ぶ学級」をつくるため、学級担任としてどのように実践していくか、具体的に述べなさい。

(1. 420～500字程度、2. 840～1000字程度・90分)

○ 神奈川県 横浜市

基本的な生活習慣が十分に身に付いていない小学生が多くみられるようになっていきます。推測されるその背景をまとめ、次いで、学級担任として望まれる指導・対策について、あなたの見解を述べなさい。(800字以内・45分)

○ 神奈川県 川崎市 (一般)

新学習指導要領では、児童生徒の発達段階に応じ、すべての教科等において、言語活動の充実を図ることが重視されています。言語活動の充実が求められている背景を踏まえたうえで、あなたは教育活動の中でどのような実践をしていきたいと考えますか。校種・教科に応じて、具体的に述べなさい。(600字以内・60分)

○ 神奈川県 川崎市 (特別選考)

あなたは小学校5年生の担任になりました。最近の児童生徒の状況を踏まえて、どのような学級をめざしていきたいですか。また、学級経営をしていくうえで、あなたの経歴をどのように生かしていこうと考えていますか。校種に応じて、具体的に述べなさい。

(600字以内・60分)

○ 新潟県 新潟市

あなたは、5年生の担任になりました。学校には東日本大震災の被災地域からの転入児童がおり、5月の職員会議で、命の大切さや人への思いやりを考えさせるよい機会として教育活動の充実を図ることが再確認されました。あなたは、このことをどのように受け止め、学級担任としてどのように取り組んでいきますか。具体的に書きなさい。(800字以内・60分)



○ 富山県（特別選考枠）

「礎」と題して、あなたが志望する校種の児童生徒に対して伝えたいことを、自分の経験をふまえて述べなさい。（800字以内・60分）

○ 愛知県 名古屋市

「絆（きずな）」という言葉から想起されるテーマをつくり、それについて、自分自身の体験や教育観とかかわらせて論述しなさい。（字数制限なし・50分）

○ 愛媛県（2次試験）

学校において児童生徒等が安全で安心な環境で学習活動等に励むことができるようにすることは、公教育の実施において不可欠なものです。そのため、各学校では、事件、事故あるいは災害から児童生徒等を守り、安全の確保が的確になされるようにすることが重要です。また、児童生徒等が、その生涯にわたり、自らの安全を確保することができる基礎的な素養を育成していくことが求められています。あなたは、自分の目指す職において、子どもたちの安全を確保するために、どのような配慮をしますか。また、子どもたち自らが安全を確保することができるようにするために、子どもたちにどのような資質や能力を育てる必要があると思いますか、自分の考えを具体的に述べなさい。（1000～1200字以内・60分）

○ 福岡県

今日、学校教育では「豊かな心の育成」が重要な課題となっています。その背景に触れながら、あなたは豊かな心を育成していくためにどのような取り組みを行っていくか、具体的に述べなさい。また、それらのことを踏まえ、教師に求められる資質能力と今後教師としての力量を高めていくために、あなたはどのような努力を行っていくのかについて述べなさい。（字数制限なし・60分）

○ 大分県（社会人枠）

今、学校では「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」をバランスよく身に付けた「生きる力」の育成が求められています。そこで、学校教育において「豊かな心」の育成が求められている理由を現在の子どもの様子に触れながら述べなさい。また、「豊かな心」の育成について学校現場でどのように取り組んでいくかを、あなた自身の社会人としての経験に触れながら具体的に論述しなさい。（1200字以内・80分）

○ 沖縄県

本県は、平成19年度に学力向上主要施策「夢・にぬふぁ星プランII」を策定し、現在、幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校において、「確かな学力」の向上に係る取組を推進しているところです。あなたは、本県教員として、今後、個に応じた「わかる授業」の構築をはかるため、日常的な「授業改善」を具体的にどのように取り組んでいきますか。あなたの考えを述べなさい。（1200字以内・60分）

【別紙】

論文テストの状況 (過去の出題論文)

過去に出題された問題の中から、練習として取り組むのにふさわしい問題を載せました。教育委員会によっては、テストの形式を頻繁に変えるところがありますし、今年度の変更の年度に当たる可能性もあります。受験予定の教育委員会の過去問に当たるだけでなく、これらを参考にして、準備されるようお勧めします。

なお、「自己有用感」「基本的なルールと体験」「確かな学力観」と題した問題と解答例は最終日にお渡しします。参考にして下さい。

- A 障害のある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応するために、特別支援教育への転換が図られて来ました。あなたは、このことをどう考えますか。また、そのためにあなたはどのように取り組むつもりか、具体的に述べなさい。(1500字程度)
- B これからの児童には、「知識・技能」だけでなく、「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力」を含めた確かな学力を育てることが必要だと言われています。(1500字以内)
- ① このことについて、あなたの考えを述べなさい。
  - ② また、その考えに立って、あなたは教師としてどのような実践をしたいか、なるべく具体的に述べなさい。
- C 教師がその職責を十分に果たしていくには、児童・保護者・地域からの信頼を確立することが重要です。(1500字以内)
- ① このことについて、あなたの考えを述べなさい。
  - ② その考えに立って、あなたは教師としてどのような実践をしますか。なるべく具体的に述べなさい。
- D これからの世の中では、子どもたちが「働くこと」について夢やビジョンをもつことが大切だと言われています。(1500字以内)
- ① このことについて、あなたの考えを述べなさい。
  - ② その考えに立って、あなたは教師として「働くこと」の大切さをどのように教えていくか、具体的に述べなさい。
- E 児童生徒のコミュニケーション能力を高めるために、あなたが取り組みたい教育活動はどのようなものですか。その活動内容を具体的に説明し、また、期待する効果についても述べなさい。(1200字以内)

- F 基本的な生活習慣が十分に身に付いていない小学生が多くみられるようになっていきます。推測されるその背景をまとめ、次いで、学級担任として望まれる指導・対策について、あなたの見解を述べなさい。(800字以内)
- G あなたは担任する学級で「もっと多くの友だちを知ろう」というねらいで席替えをすることにしました。ところが、新しい座席がきまった瞬間に「最低の席になった。」と何人かの子どもたちが口々に叫んでいます。  
このことについて、あなたは学級担任としてどのように考え、どのように対応しますか。解答用紙に1, 200字以内で述べなさい。
- H 学級の中に反抗的な態度をとる児童がいるとき、あなたは担任教師としてどのような姿勢で指導しますか。  
「信頼される教師」という観点から、あなたの考えを述べなさい。(800字以内)
- I 社会、学校、学級のルールを大切にすることを育てることは、子どもたちの健全育成のために大切なことです。まず、子どもとルールの関係について日頃から思っている問題意識を整理し、次に学級担任としてどのように指導したいか、具体的にまとめなさい。(800字以内)
- J 今、学校教育には、児童・生徒の学習と将来の生活との関連を図りながら、知識や技能を習得できるようにする指導の充実が求められています。  
1 このことについて、社会的な背景やこれまでの経験などに基づき、理由を明らかにして、あなたの考えを700字程度で述べなさい。  
2 1で述べた考えに立って、あなたは教師としてどのように実践していくか、課題を明らかにした上で、志望する校種・教科等に即して、700字程度で具体的に述べなさい。
- K 今、学校教育には、児童・生徒に、学習や生活などに前向きに取り組む力のもととなる、健全な自尊感情を高めることが求められています。  
1 このことについて、社会的な背景やこれまでの経験などに基づき、理由を明らかにして、あなたの考えを700字程度で述べなさい。  
2 1で述べた考えに立って、あなたは教師としてどのように実践していくか、課題を明らかにした上で、志望する校種・教科等に即して、700字程度で具体的に述べなさい。

【別紙】

## 論文テストの問題と解答例

東京都で過去に出題された問題と、それに解答した論文を、例として載せました。いずれも優れた論文だと思います。これからの勉強の参考にさせていただきようお勧めします。

なお、便宜上、それぞれの問題に題名をつけてあります。

### 自己有用感

友達や教師と共に活動し学びあう中で、子どもたちが、「わたしは、かけがえのない一人の人間として大切にさせ、頼りにされている」と実感できることが大切です。

- ① このことについて、あなたの考えを述べなさい。
- ② その考えに立って、あなたは教師としてどのように努力するか、志望する校種に即して具体的に述べなさい。

### 基本的なルールと体験

次代を担う子供たちに教え伝えていくべき社会の基本的なルールとして、いくつか提言されている中に、「体験の中で子供をきたえよう」という呼びかけがあります。

- ① この呼びかけが持つ教育的意義について、あなたの考えを述べなさい。
- ② また、その考えに立って、あなたは教師としてどのような実践をしたいか、なるべく具体的に述べなさい。

### 確かな学力観

学校には、児童・生徒に「確かな学力」を身につけさせるために、学ぶことの意義や楽しさを実感させ、学習意欲を高める指導が求められています。

- ① このことについて、あなたの考えを述べなさい。
- ② ①で述べた考えに立って、あなたは教師としてどのように実践していくか、志望する校種・教科等に即して、具体的に述べなさい。

※ いずれも、指定文字数は1500です。

## 自己有用感

①

子どもたちに「自己有用感」を感じさせることが、今日の学校教育の大きな目標だと、私は考える。

自己有用感とは、自分にはできることがたくさんあり、人に必要とされている人間であると、自分の存在を肯定的に受け止める気持ちを指す。私がティーチングアシスタント（TA）をしている小学校の児童には、自己有用感を感じている児童とそうでない児童には大きな差が見られる。一方は、勉強や遊びに積極的で、いつも目を輝かせている。もう一方は、暴力や立ち歩きなど問題行動に走ったり、無気力に一日を過ごしたりしがちである。

②

友達や教師と共に活動し学びあう中で、全ての児童に自己有用感を実感させ、充実した学校生活を送れるようしなくてはならない。そこで私は二つの方策を考える。

一つ目は、子どもの可能性を伸ばす教室作りである。子どもに自己有用感を持たせるためには、一人一人の個性に見合った活躍の場で、自分の役割をこなし、他者から認められることが何よりも大切である。

私がTAをしている小学校の女の子で、自分の体型のことに悩み、不登校になりがちな児童がいた。そこで、担任の先生はその児童が生き物に詳しいことを生かし、その児童を生き物係に推薦した。児童は、一生懸命に学級の金魚の世話をし、先生も折に触れて児童の頑張っている様子を学級全体に伝えた。すると、友達のその子を見る目は変わり、一緒に世話をする仲間もできるなど、学級に溶け込むことができた。

私は、毎日朝学活や帰りの学活で「友達の良いところ発見！」の時間を設け、友達同士に個性を発見させ、認めさせる。また、私自身がアンテナを高くして子どもの表情や言葉から想いを汲み取り、余す所なく個性を把握する。そして、それぞれの能力に適した活躍の場を、学習の場面、係活動、当番の活動、特別活動などに求め、やりとげる達成感と、自分は他者の役に立っているという自己有用感を実感させたい。

二つ目は、子どもにとって居場所となる学級作りである。私は自分自身が児童を一人の人間として尊重し、大切にする。子どもは、自分がかげがえのない一人として扱われているんだと分かることで、学級の中に自分の居場所を見出せると私は考える。

教育実習の時に、教師の話を聞かない、誰にでも強い態度で暴力を振るうという児童に出会った。担任の先生は「あの子は自分に自信がないから、本当は自分を認めて欲しいと願っているだけ」と言っていた。その話を聞いてから、私は自分の態度を改め、その子を優しく抱きかかえたり、どんどん褒めていく努力をした。すると、今まで見せなかった笑顔を私に見せ、褒めてもらおうと自分の算数プリントや自由帳の絵を見せてくるようになった。

私は、児童のありのままの姿を尊重し、笑顔で接したり児童と同じ視線で話したりすること

を大切にしたい。また、どんな問題を持った児童でも見放さず、時には厳しく叱り、成長が現れたら共に喜ぶという温かさと厳しさを持って指導に当たる。そして、「いつも君の事を気にしてるよ」というサインを子どもに送り続けたい。

◎ 子どもに自己有用感をもたせるため、私はあらゆる努力を惜しまない。そして、子ども一人一人はかけがえのない一人の人間であるという考えに立ち、教員としての使命を全うすべく、日々の研修を怠らない決意である。

## 基本的なルールと体験

①

今、社会生活の上で守らなければならない「基本ルール」を子どもに身に付けさせることが学校教育の課題となっている。

私がティーチングアシスタント（TA）をしている小学校にも、人の話を全く聞けない、挨拶ができないなど、基本ルールが守れていない子どもがいる。また、目上の人を敬わない、平気で友達を傷つける言葉を放つといった、思いやりの心に欠ける言動が目立つ。東京都もこのような現状を憂慮し、「心の東京ルール」を唱え、体験の中で子どもを鍛えることの重要性を強調している。

②

この課題を解決するためには、子どもたちが様々な感動の体験をし、感動を人と共有することが重要だと私は考える。また、私は子どもの力を伸ばす生徒指導を実践する。

まず、感動の体験でいっぱいな学級経営を実践する。学級全体で一人一人の児童の想いを分かち合い、共有することは、人を思いやる心を育むことに繋がる。

教育実習の時、帰りの学活の時間で、ある児童が「今日校庭の隅の木の下に、変なものを見つけた」と発表した。すると担任の先生は「じゃあ明日の外体育の時間、みんなで見に行こう」と言った。次の日、実際にクラス全員で見に行き、それを見たある男の子が「これは蟻地獄っていうんだよ」とその場で全員に教えた。私はその時の児童全員の嬉しそうな顔が忘れられない。特に、最初に発見した児童が、自分の発見をみんなに知ってもらえた喜びを体全体で表しているのが印象的だった。

私は、朝や帰りの会で児童の発表の時間を設け、ただ発表して終わらせるのではなく、積極的に質問させ、子どもの想いを引き出し、学級全体に広める。また、私自身が学級で発見した



事や、休日の趣味等味わった感動を子どもに伝えていきたい。そして、子どもと共に汗を流し、共に感じ、感動するという「子どもと共に」の姿勢を貫きたい。

次に、体験の中で子どもを育てるため、力を伸ばす生徒指導を実践する。その際には、教師と子どもの人間的な触れ合いを通して、学校での集団生活を意欲的に送ることができるよう援助することが重要である。

私は実習の時ある児童と出会った。その子は、教師の話は聞かない、給食の片付けや掃除もしない、順番も守らないという問題のある児童だった。私は、問題行動は決して許さなかったので、実習一週目の頃は言うことも聞かず、私に対して乱暴な行動も取っていた。そこで、私は一緒に遊んだり、漢字をうまく書けた時は褒めたり、作文を全員の前で読み上げるなどした。すると、だんだんと心を開いてくれるようになり、注意をしても素直に修正できたり、掃除にも加われたりできるようになった。

私は、問題行動を取る児童に対しては毅然とした態度で臨む。ただ叱るだけでなく、努力して少しでも修正できた場合は最大限に褒める。また、子どもたちの悩みや心の揺れ、不安などを温かく受けとめ、一人一人をかけがえのない一人として扱う。さらに、子どもの意欲の表れや努力の跡を見出し、認めたい。そして、係活動や当番活動を充実させ、集団の中で体験を積み重ねていく。

◎ 体験の中で子供を鍛えるため、私は、感動いっぱいの学級づくりと、力を伸ばす生活指導を実践する。そのために私は常に子どもと共にあり、人間と人間の豊かな人間関係を築く努力を惜しまない決意である。

## 確かな学力観

### ①

子どもたちに学ぶことの意義を実感させ、学習意欲を高めることができれば、確実に「確かな学力」が身につく。これが、私の教師としての最大の課題である。

「確かな学力」とは、学んだことを基にして、自分を表現する力である。補助教員ボランティア先の小学校でのことである。掛け算を学習した後の休み時間に、ある子どもがクラスの掲示物を見て、こういった。「先生、ここに掛け算が隠れていたよ。四九で、36枚だ」学んだことを生かした発見を称賛したが、周りの児童がその掲示物の枚数を数えたのは言うまでもない。学習意欲が確かな学力に結びつくことを実感した。

②

以上から、課題達成のために、次のような方策で改善に努力したい。

《その1》学ぶことの意義を実感できるように

学校生活で学んだことを活用できたり、役に立つことを実感できたりすることが意欲につながるので、学ぶことの意義を実感できるようにしたい。低学年で学んだことが高学年で生かせたり、生活の中で、学んだことを活用できる経験が大切だ。

補助教員ボランティア先の小学校でのことである。授業の初めに漢字テストをしていたが、数人の児童は面倒臭がり、プリントをやろうとしない。私はその児童に漢字の成り立ちや、実際に使う場面を話し指導をした。するととても興味を持ち、休み時間に自分で辞書を使って、その漢字について調べていた。学習と生活が結びついた瞬間だった。

以上のことから、私は学んだことが役立つ機会の充実を図る。漢字などは、日頃使うものであることに気付かせるため、生活の中から漢字探しをしたり、教科書に出てきた低学年の漢字を、再度辞書で調べ、確認する作業を行ったりする。他教科でも、低学年からのつながりを考え、また日常生活と関係を持たせ、学ぶことの意義を実感できる授業を展開するよう努力する。

《その2》学ぶことの楽しさを実感する

学習の中で、児童が「分かった」、「できた」という経験をするのがとても大切である。この経験によって、学ぶことを楽しいと感じ、もっと学びたいという気持ちが生まれてくる。そこで子ども主体の授業が必要になってくる。

補助教員ボランティアをしていたときの、音楽の授業でのことである。昔話にリコーダーで音をつけ、段落ごとのグループで歌を歌い、最後にクラスでひとつの作品にする。一人一行を担当し、できたらグループで練習をする。子どもたちは、一生懸命リコーダーで音を決め、できた時は歓声をあげ、グループの他の児童に報告をしていた。互いに表現し合い、切磋琢磨し夢中になっていた。作品ができた時はクラスが大きな達成感に包まれていた。

以上から、私は学ぶことの楽しさを実感できる、児童主体の活動を取り入れた授業の充実を図る。一斉授業の中にも、児童が考えられるよう発問をし、「分かった」という実感を毎回持てる授業を展開する。そして、段階的にグループやクラス全体が協力できる機会を作り、その楽しさにも気付かせたい。

◎ 「確かな学力」を身につけさせるための指導はとても重要である。児童の実態を把握し、それに応じた指導を重ねることによって、一歩ずつ前進することができる。私は子どもたちと共にその道のりを歩んでいきたい。

※ 解答用紙は1行が35字ですが、編集の都合で変更してあります。



〔練習〕

## 論文構成票を作ってみよう！

秋田県 生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであるといわれています。あなたは、どのような点に留意して生徒指導が機能する授業を進めるか、生徒指導における三つの視点から具体的な取組案を示して述べなさい。（600字以内・50分）

埼玉県 埼玉県では、平成17年度から、県内すべての公立小・中学校で「教育に関する3つの達成目標」の取組を行っています。この取組の趣旨を踏まえ、あなたはこれまでどのような実践をしてきましたか。また、今後、どのような実践をしていきますか。具体的に述べなさい。（1000字以内・60分）

石川県 （坂東真理子「親の品格」）の中の文章を読み、よき市民として社会規範に沿って生きていくように教える役割と子どもたちの個性を伸ばし、創造性を発揮できるように育てる役割のどちらに重心をおくかを論じる。  
〈条件〉1文目は、「私は、（ ）役割に重心をおくのがよいと考える。」から始めるものとし、（ ）には本文中から25～30字で抜き出した部分を記入すること。（400字以内・教養試験【90分】の国語の問題中で実施）

神戸市 授業規律の確立と安定した学級づくりのために大切にしたいことを3つ挙げ、具体的に論じなさい。（1500字以内・75分）

香川県 香川県教育基本計画では、「夢に向かってチャレンジする人づくり」を基本理念として掲げていますが、夢を持ち、努力する児童生徒を育てるにはどうすればよいか。あなたの考えを具体的に論じなさい。（800字以内・60分）

## 参考 「分かる授業」とは

### 1. 捉え

- ① 課題に挑戦させ、
- ② 支援をして、克服させ、
- ③ 達成感を味わわせる 授業

### 2. 配慮すべきこと

- ① 子どもたちが克服するにふさわしい課題であること。易しすぎたり難しすぎたり、挑戦するのに価値がないような課題は、ふさわしくない。
- ② 子どもたちを挑戦させるには、それにふさわしい仕掛けが必要である。何もなければ、子どもたちは意欲をもたない。現場の先生方は、子どもたちの興味を引くような内容を探り出して課題の事例にしている。  
例) 算数で割合の勉強をしている時に給食の塩分を例にしてみる。どういう反応?
- ③ 支援の方法は、あくまで子どもたちの意欲を支え、自分の力でやり遂げたと感じさせるものでなければならない。誘導されたら、それと感じて、満足感は得られない。
- ④ 克服できたら、大いに称賛する。どれほど大げさに誉めたとしても、嬉しくないはずはないから。
- ⑤ 児童が達成感を味わうのは、自分がどれだけのことができたかを確認した時であろう。先生は、それを的確に示してやらねばならない。(価値評価)  
例えば、山登りをして頂上に立てたら誰でも「やった!」と思うだろう。どの教科であっても、子どもがひとつやり遂げたら、その価値を示してやるのが大事なのである。

### 3. 教師が為すべきこと

まず、教材研究。では、どのように?

算数の割合であれば、前述の百分率をどう実感させるのかのような方針が必要で、それに基づいての教材研究にならねばならない。

## 参考 文を短く

長くなっても、「文として捻れが無ければ問題なし」と考える人が多い。ところが、筋が通っていても、それを追いかけて論理を確認するのに、結構な労力を要する。たくさんの論文を読まなければならない試験官にとって、大変な苦痛である。

解答例) しかし、子ども達の現状をみても、不登校やいじめ、学級崩壊などのさまざまな問題を抱えており、今の子ども達は協調性や他者への思いやりといったものが弱くなり、人との接し方やかわり方が分からなくなっているように感じる。

修正例) しかし、子ども達の現状は、不登校やいじめ、学級崩壊などのさまざまな問題が指摘されている。その原因は、協調性や他者への思いやりが弱くなったからと言われる。その結果、人との接し方やかわり方が分からなくなってしまったのであろう。

文のつなぎ方を工夫すれば、同じ意味で、短くできる。ふだんから習慣づけて、端的に表現する力を養って欲しい。

【資料】

平成24年度 東京都公立学校教員採用候補者選考 論文（小学校全科）

- 一般選考 次の事例を読み、下の問題について論述しなさい。
- 補助教員等経験者 次の事例を読み、あなたのこれまでの教員経験から得た成果や課題を踏まえて、下の問題について論述しなさい。
- 社会人経験者 次の事例を読み、あなたのこれまでの社会人としての経験を踏まえて、下の問題について論述しなさい。

A小学校では、児童の学習意欲の向上を今年度の指導の重点としている。4月から第5学年の担任になったB教諭は、「すすんで学ぶ学級、みんなで学ぶ学級」を学級目標とし、全力で学習指導や生活指導に当たっている。

5月の連休明けに行った授業参観後の保護者会では、前年に比べ授業中の発言が少なくなったことや、勉強が面白くないと言って家庭学習をおざなりにする児童がいることなど、児童の学校や家庭での学習に取り組む姿勢が話題になった。

B教諭は、保護者の発言を聞きながら、改めて自らの指導を見直し、指導の改善・充実を図る必要があると考えた。

問題

- 1 あなたがこの事例のB教諭であったら、どのような観点から自らの指導を見直すか、**500字程度**で述べなさい。ただし、**420字**を超えること。
- 2 あなたは、「すすんで学ぶ学級、みんなで学ぶ学級」をつくるため、学級担任としてどのように実践していくか、**1000字程度**で具体的に述べなさい。ただし、**840字**を超えること。